健康長寿万歳

地域の世話で多忙な毎日

病気と大事につきあいながら

自治会長　武元　和子さん（久御山町）

二期八年間、町議会議員を務め、四月に辞めたばかり。息つくひまもなく約九十世帯が加入する地域の自治会長に選ばれ、世話役として活躍している。

「私は家にじっとしているのが嫌いでしてね。議員時代、地域の人たちからお世話になった恩返しでもあるんですが、結構忙しいですよ。皆さんに喜んでもらうのがうれしいんです」

議員時代も多くの成果を上げてきた。地元地区の基本健診の受診率が低かったのを、受診できる病院の地域を広げることで向上させた。廃食油のバイオ燃料化にも取り組んだ。

自治会長になっても活躍は変わらない。地元は京都市との隣接地だ。市のごみ収集が有料化されたとたん、ごみが地域内へ持ち込まれるようになって住民が困っていた。さっそく自治会長の出番だ。議員時代の経験を生かして地域外から持ち込まれない工夫をして成果を上げた。

外見はとても活発で、健康そうに見えるが、実は子どもの時から持病を抱えている。腎臓に黄信号が灯っており、月一回は病院へ検査に通っている。議員を辞める決心をしたのもそのためで、家族会議を開いて決めた。

「こんな体ですけど、議員時代の八年間は一度も寝込んだことはありませんでした」

病気だから内向きになるのではなく、病気と上手につきあいながら、積極的に生き

る武元さんの笑顔が人懐っこかった。